

# 海津市都市計画マスタープラン

令和5年3月



## はじめに

少子高齢化と人口減少は本市においても例外ではなく、市制施行の平成17年(2005年)から約8,000人もの人口が減少しております。

本市の人口減少の最大の要因は、若い世代、とりわけ「子育て世代」の転出であり、令和4年3月に策定いたしました「海津市第2次総合計画 後期基本計画」では、「子育て世代に選ばれる まちづくり」を重要な目標と捉え、特に関連が深い11の施策を「海津イレブン」として重点施策に位置付けました。そして、現在、その実現に向けて、全力で各種事業に取り組んでいるところであります。

こうした中、整備を進めてきた駒野工業団地への進出企業が決定し、雇用の創出や地域経済の活性化に大きな期待が寄せられております。また、令和8年度には東海環状自動車道の全線開通が予定され、本市ではストック効果を最大限に活かしたまちづくりを推し進めなければなりません。

この状況を踏まえ、令和14(2032)年度を目標年次とし、今後10年間のインフラ整備の方向性を示す「海津市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

このマスタープランでは、(仮称)愛津大橋の架橋計画の推進や(仮称)海津スマートインターチェンジ周辺への産業誘導のほか、東海環状自動車道の開通による道路ネットワークの強化や養老山地や田園地帯の保全など、本市が目指す将来像や都市構造の実現に向けた方針を示しました。

今後、プランの推進にあたりましては、市民協働のまちづくりのもとに、多くの皆さまに関わっていただき、「オール海津」で進めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本プランの策定にあたり、ご尽力いただきました海津市都市計画審議会委員、海津市土地利用計画策定委員会委員の皆さまをはじめ、アンケート調査やパブリックコメントを通して貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆さまに、心より感謝を申し上げます。

令和5年3月

海津市長 横川 真澄





# 目 次

## 第1章 計画の前提

1-1 都市計画マスタープランとは.....	1
1-2 策定の背景.....	1
1-3 計画の位置づけ.....	2
1-4 計画の概要.....	2
1-5 計画の策定体制.....	4

## 第2章 都市づくりの課題

2-1 海津市の特性.....	5
2-2 上位・関連計画.....	51
2-3 市民意向.....	67
2-4 都市づくりの視点.....	70
2-5 都市づくりの課題.....	73

## 第3章 都市づくりの目標

3-1 都市の将来像とまちづくりの目標(ビジョン).....	75
3-2 まちづくりの基本方針.....	78
3-3 目標人口.....	79
3-4 将来都市構造.....	80

## 第4章 都市づくりの方針

4-1 都市づくりの方針	83
4-2 土地利用の方針	84
4-3 道路・交通体系の方針	88
4-4 水と緑の方針	92
4-5 生活基盤整備の方針	95
4-6 自然環境の保全と景観形成の方針	98
4-7 都市防災・災害対策の方針	100

## 第5章 地域別構想

5-1 地域区分の考え方	103
5-2 海津地域	104
5-3 平田地域	118
5-4 南濃地域	130

用語集	147
-----	-----

策定経緯等	151
-------	-----